

「板橋区 ICT 推進・活用計画 2025」令和 3 年度実績報告について

「板橋区 ICT 推進・活用計画 2025」（以下、「ICT 計画 2025」という。）の各推進施策の令和 3 年度における取組状況について報告を行う。

1 令和 3 年度実績報告概要

現在、25 施策を計画化しており、令和 3 年度における各施策の実績としては、「達成+」が 5 施策、「達成」が 19 施策、「未達成」が 1 施策であった。

以上のことから、令和 3 年度末時点において ICT 計画 2025 は概ね計画どおり実施されており、期間満了までの各施策の着実な実現に向けて、引き続き進捗管理を行っていく。

集計結果

令和 3 年度実績集計表

施策の評価	評価の内容	該当施策	割合
達成+	令和 3 年度計画の事業量を上回る実績となっている	5 施策	20%
達成	令和 3 年度計画の事業量の全部若しくは大部分を達成している、又は施策としては完了している	19 施策	76%
未達成	施策の遅延等により、令和 3 年度計画の事業量の全部若しくは大部分が達成されていない、又は施策として完了していない	1 施策	4%
計		25 施策	100%

2 基本方針に対する令和 3 年度実績

ICT 計画 2025 に掲げた基本方針別に各推進施策の令和 3 年度実績を集計した。

(1) 基本方針Ⅰ：業務の改善・効率化（達成+：3 施策、達成：8 施策、未達成：0 施策）

WEB 会議の実施回数が目標値を大きく上回り、区政事務事業説明会や区民向けの講習会など対外的な会議も実施し、区民利便性の向上が図られた。

また、RPA の拡大も目標値を大きく上回り、会議録作成支援システムについても活用拡大しているなど、各施策を通じて業務の効率化が図られた。

さらに、事業継続性の確保、事務のペーパーレス化・効率化、ワークライフバランス推進の観点から、テレワーク環境を整備し運用を開始した。スマートシティの推進に向けては、検討に留まらず民間事業者と連携した実証実験にも着手している。

<主な成果>

- ・ Web 会議の推進
- ・ テレワーク環境の整備及び運用
- ・ RPA の拡大
- ・ 会議録作成支援システムの活用強化
- ・ スマートシティの推進

(2) 基本方針Ⅱ：マイナンバーカードの普及・活用

（達成+：1 施策、達成：2 施策、未達成：1 施策）

マイナンバーカード交付枚数については目標事業量を達成できなかったものの、出張申請（新型コロナウイルス感染症の影響で一部実施）のほか、区内共通商品券の贈呈

など交付勸奨の取組を進めた。令和4年5月からは地域センターでの出張申請も再開しており、今後も交付率向上に努めていく。また、マイナンバーカードによる諸証明の交付率は目標を大幅に上回る実績となった。

＜主な成果＞

- ・マイナンバーカードによる諸証明の交付率向上
- ・ぴったりサービスにおける検索可能な手続きの拡大

（3）基本方針Ⅲ：オンライン化の促進（達成＋：1施策、達成：3施策、未達成：0施策）

行政手続きにおけるオンライン申請の拡大は目標を大幅に上回る実績となった。区税・各種保険料の収納方法及び使用料・手数料の支払い方法の拡大や、GIGAスクール構想で整備した教育ICT環境の更なる活用なども計画どおり推進した。

＜主な成果＞

- ・行政手続きにおけるオンライン申請の拡大
- ・区税・各種保険料の収納方法及び使用料・手数料の支払い方法の拡大
- ・GIGAスクール構想で整備した教育ICT環境の更なる活用

（4）基本方針Ⅳ：データの利活用（達成＋：0施策、達成：6施策、未達成：0施策）

区が保有する画像データのオープンデータ化やデータ利活用の有効性や分析手法を普及させることを目的とした庁内研修の実施など、データ利活用に向けた環境整備を計画どおり推進している。

＜主な成果＞

- ・データ利活用に向けた庁内データの環境整備
- ・データを用いた区政経営の推進
- ・各種広報ツールの活用拡大

3 今後の予定

令和4年度はICT計画2025前期実施計画の中間年度にあたる。区における更なるICTの推進・活用を進めるにあたり、各施策は重要な役割を担っているため、引き続き着実に進捗を図っていく。また、国や他自治体の動向を注視しながら令和6年度から開始されるICT計画2025後期実施計画に関する方向性を検討していく。

参考：令和3年度実績報告に対するCIO補佐からの助言

板橋区では「ICT計画2025」にて、令和5年度までの前期実施計画を定めており全体方針を適切に定め、DXを推進している。また、令和3年度進捗状況も目立った遅延など発生しておらず、各施策の進行を通じて更なる区民サービス向上につながっていると認識している。DXの取組みの実行にあたっては、デジタル技術の急速な進展や政府の方針等も年単位で変化していく中、スピード感を持った取組の展開が求められている。そのため「進め方」も重要な要素となる。いわゆるアジャイル的発想で、「最初は小さく始め、機敏に修正を重ねながら徐々にその取組を拡大する」ことが、DX推進のポイントではないかと弊社は考える。

上記アジャイル的発想と「ICT計画2025」令和3年度実績の2点を踏まえ、引き続き板橋区と密にコミュニケーションを取りながら、必要な助言、支援を進めていく。

＜CIO補佐・情報システムアドバイザー業務委託＞

区では、区民サービスの向上に資する業務運営やシステム導入計画の技術的支援を受け、区におけるDXを効率的かつ効果的に推進するために、令和4年度よりデロイトトーマツコンサルティング合同会社へ業務委託を行っている。